

授業に関するアンケート（2018 年度秋学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
食物栄養科学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
学科の平均が 3.58 と高く、全ての教科で 3 以上の評価である。食物科学専攻・管理栄養士専攻ともに、授業内容が的確にシラバスに記載され、シラバスに沿って授業が行われていると評価できる。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
学科平均が 3.37 と高く多くの科目が 3 以上である。しかし、統計や専門外の科目など、学生が苦手な科目では 3 以下の評価の科目が散見された。評価の低い科目では学生の理解を深める工夫が必要と思われる。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
学科平均が 3.18 と多くの科目が 3 以上の評価であった。しかし、統計や専門外の科目、高度に専門性が高い科目など、学生が苦手な科目では 3 以下の評価の科目が散見された。評価の低い科目では学生に苦手意識を感じさせない授業の工夫が必要と思われる。
4. 教員からの一方的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
学科平均が 3.25 と多くの科目が 3 以上の評価であった。しかし、高度に専門性が高い科目など 3 以下の評価の科目が散見された。知識を学ぶ必要のある科目は、座学が多くなることから、一方向の授業になる傾向がある。その中でも教員や受講生同士の双方向の授業の工夫が必要かもしれない。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
学科平均が 3.27 と多くの科目が 3 以上の評価であった。しかし、非常勤の担当される実験実習などでは、3 以下の評価の科目が散見された。評価の低い科目では、非常勤講師と主担当とが連携する等の、学生へのフィードバックの工夫がいるかもしれない。
6. 言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
学科平均が 3.36 と多くの科目が 3 以上の評価であった。しかし、3 以下の評価の科目が散見された。多くの知識を学ぶ必要のある科目は、説明が多くなり、座学が多くなる傾向があることから、受講生の理解を促進する工夫が必要かもしれない。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
学科平均が 3.30 と多くの科目が 3 以上の評価であった。また全学と比較しても評価が高く、概ねどの教科も自主学習を促す工夫がされていると思われる。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
パワーポイントや配付資料について、工夫して欲しいと答えた学生が多く、教員のコメントからも字の大きさ、マナビーの運用方法等について工夫が必要とのコメントも多く見られたことから、授業の媒体についての改善が必要と思われる。学科全体としての FD も考える必要があると思われる。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
学科の平均は 1.24 時間で全学平均の 0.82 時間より多い、実験実習にはレポートが課せられているため、実験実習では 1 時間以上と回答されている。文部科学省の単位の換算では 1 科目 4.5 時間の自学が求められていることから、これでも少ないと考えることができる。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしりましたか。
学科平均は 2.52 であり、いずれの科目も評価 2, 3 を選択する学生が多かった。アクティブ・ラーニングの導入を考えた場合、さらに工夫する必要があると思われる。

11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
学科平均は 3.08 であり、全学平均の 3.16 より低い。食物科学専攻、管理栄養士専攻とも専門家として就職する学生が多く、就職後も新しい知識や技術が要求されることから、関連分野の学習をさらに進めたいと思えるような授業の工夫が必要と思われる。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
食物科学専攻、管理栄養士専攻とも、必修科目が多いため、必修であるためこの授業を履修したとする回答が多かった。

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
学科平均は 3.28 であり、全学平均の 3.37 より低い。学科として、到達目標が達成しやすいような指導の工夫についての FD を行うなどの取り組みが必要かもしれない
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
学科平均は 3.09 であり、全学平均の 3.21 より低い。学科全体としての評価基準が他学科より厳しい可能性もあるが、いずれの専攻とも、卒業のための条件が厳しい学生が感じており、自己に厳しい評価を下している可能性もあると思われる。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可）。
食物科学専攻では思考力、管理栄養専攻では分析力、思考力、変化対応力、自己管理力の評価が前年度より低かった。しかし他学科と比較すると相対的に低いとは言えず、専門科目を通して、思考力分析力が獲得できたとする学生は多いと思われる。学生の気質の変化を踏まえ、来年度の調査結果で判断をしたい。

(4) その他

食物栄養科学科は理系の学科であることから、統計や物理、生化学、医学等の専門知識の理解が求められる。そのため学生にとっては授業の内容が難しいと判断されることも多いと考えられる。単純に他学科と比較するのではなく、数年前の本学科のアンケート結果と比較評価し、改善すべき点は改善していく必要があると思われる。実験実習以外にはアクティブ・ラーニングの導入が難しいところがある。しかし、学科の特徴に合わせた対応を、FD などを通して教員間で考えていきたい。
--